

第3期岡山市地方創生総合戦略（概要版）

第3期岡山市地方創生総合戦略のめざす姿

岡山市の人口は岡山県の4割近くを占め、圏域の中心都市として、商業・業務、医療・福祉、教育・文化、コンベンション等の高次の都市機能が集積しており、さらに、交通の至便性や豊かな自然環境、歴史・伝統・文化等様々な強みと特性を有している。

近年、市の人口は、自然減の拡大や若年層の東京圏、大阪圏への転出超過により減少傾向にあり、今後、若者等の大都市圏への人口流出に歯止めをかけるためには、岡山市の強みをいかし、生活の安全性や利便性の向上に加えて、魅力的で働きがいのある仕事の創出や、まちの居心地の良さや創造性、期待感、高揚感など、多様な要素に溢れる質の高い都市環境づくりを進める必要がある。

また、それらを通じて、県内、中四国といった圏域全体の進学や就職の受け皿となり、大都市圏への人口流出を防ぐ役割を一層発揮することが求められる。

このような状況に対応し、地方創生の実現に向けた取組を進めていくため、第3期岡山市地方創生総合戦略は、国の「地方創生に関する総合戦略」を勘案しつつ「岡山市第七次総合計画前期中期計画」と整合性をとりながら、活力ある地域社会の実現を図ることをめざす。

計画期間は、令和8年度～令和12年度までの5年間とする。

基本目標1 愛着と誇りをもち、安心して働き暮らせるまちをつくる

基本目標2 まちの「稼ぐ力」を高め、魅力と活力あふれるまちをつくる

基本目標3 岡山市への新たな人の流れをつくる

基本目標4 デジタルなどの新技術の活用や広域連携を推進する

愛着と誇りをもち、安心して働き暮らせるまちをつくる

- 人口減少や少子高齢化が進行する中においても、誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らし続けていくために、多様な主体と協働しながら生活サービスの維持・向上や地域課題の解決、地域の活性化を図るとともに、防災・防犯やライフラインの強靱化、道路・交通の充実、脱炭素社会に向けた取組など、持続可能なまちづくりを進める。
- 安心してこどもを生き育てることができる環境づくりをはじめ、性別や年代を問わず、誰もが個性と能力を発揮できるまちづくりを進めるとともに、まちの賑わい拠点の更なる充実や郷土への愛着・誇りの醸成を図り、「住みやすいまち」としての魅力をより高めることで、若者や女性に選ばれるまちをめざす。

主な取組

(1) こども・若者が輝き、安心して子育てができるまちづくり

- ・妊娠期からの切れ目ない健康づくりへの支援と子育ての負担感や不安感をやわらげる支援
- ・共働き・共育での推進
- ・困難な状況や多様な教育ニーズを踏まえた支援

(2) 多様な主体による活力ある地域づくり

- ・持続可能な地域づくり
- ・多様な主体の協働促進

(3) 若者や女性にも選ばれるまちづくり

- ・多様性に富んだ活力あるまちづくり
- ・多様な働き方の推進と魅力的な職場づくりへの支援
- ・主体性と地域への愛着を育む教育の推進
- ・大学等との連携による社会課題解決の推進

(4) 健康寿命の延伸と豊富な医療・介護資源をいかした地域づくり

- ・生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり
- ・医療・介護体制の充実
- ・地域共生社会の推進

(5) 安全・安心に暮らせるまちづくり

- ・防災・防犯に対する備えの強化や自立した消費者の育成
- ・安全・安心な都市基盤の整備と災害対応力の向上

(6) 将来を見据えた持続可能なまちづくり

- ・持続可能な土地利用の推進と暮らしやすい住環境づくり
- ・交通の維持・確保と道路ネットワークの充実
- ・魅力・賑わい拠点の充実
- ・環境にやさしいまちづくり

数値目標（主なもの）

■子育てしやすいまちと思う保護者の割合	57.2% (R5) → 65% (R11)
■居住地域への愛着度	77.5% (R5) → 80% (R11)
■固定的な性別役割分担意識の解消度	72.8% (R5) → 78% (R11)
■健康寿命	男性 72.30歳 (R4) → 73.7歳 (R10) 女性 74.31歳 (R4) → 75.7歳 (R10)

- 地域の「稼ぐ力」を高め、地域経済を持続的に成長させていくために、市内企業の労働生産性や付加価値の向上を促進するとともに、スタートアップや市内企業の新分野進出への支援など、新結合により社会に新たな価値を生み出すこと（イノベーションの創出）を後押しする。また、人口減少に伴う労働力不足を踏まえ、人材確保や省人化・省力化に向けた取組への支援を進める。
- 岡山市の持つ豊かな歴史・文化遺産など、固有の観光資源の魅力を高めつつ、国内外に向けた効果的なプロモーションを戦略的に展開し、さらなる観光振興やインバウンド施策を推進するとともに、数々の国際会議の開催経験等を強みとし、MICE誘致を促進する。また、多様な文化芸術の創造・発信やスポーツ振興を通じてまちに新たな活力と賑わいを創出し市民の心の豊かさや地域への愛着・誇りの醸成をめざす。
- 農業者の減少や高齢化が進む中、担い手の確保や生産基盤の強化等に取り組み生産性を高めるとともに、市内農産物のブランド力強化等によりさらなる消費拡大を図り、儲かる農業の実現と持続可能な農業をめざす。

主な取組

(1) 地域経済の活性化を促進する産業の振興

- ・地域経済の持続的な発展に向けた事業成長の支援
- ・新たな価値を生み出すイノベーション創出の促進
- ・安定した経営を可能にする事業環境の整備

(2) 歴史・文化・スポーツ等をいかした新たな価値と魅力の創出や観光誘客の促進

- ・観光の振興と情報発信力の強化
- ・外国人観光客誘客と受入体制の整備
- ・MICE誘致の推進
- ・文化芸術・スポーツ振興

(3) 持続可能で活力ある農林水産業の振興

- ・農林水産業の生産性向上・高付加価値化

数値目標

■付加価値向上に向けた市の支援を受けた事業者数	80者（R6）→ 470者（R8～R12の合計）
■スタートアップ創出数（累計）	50社（R6）→ 110社（R12）
■観光客数	6,207千人（R6）→ 8,755千人（R12）
■新規就農者数	31人（R6）→ 150人（R8～R12の合計）

基本目標

3 岡山市への新たな人の流れをつくる

- 中四国のゲートウェイとしての優れた広域拠点性や災害リスクの低さなど岡山市の持つ様々な優位性をいかし、企業の立地を推進することで、地域経済の活性化や雇用の創出を図る。
- 「暮らすまち・働くまち」としての岡山市の魅力が伝わる情報発信の強化や首都圏・関西圏での移住者誘致に取り組み、地域経済や社会を支える人材の確保に取り組みとともに、関係人口の創出・拡大を図る。また、若者の定着を促進するため、まちづくりへの参加や地域とつながる仕組みづくりを通じて地域への愛着を持ってもらうとともに、若者が岡山で希望する働き方を実現できる環境整備を進める。

主な取組

(1) 拠点性をいかした企業等の誘致

- ・ 企業立地の推進
- ・ 政府関係機関の誘致

(2) 大学や経済界等との連携

- ・ 連携による社会課題解決の推進

(3) 移住・定住の推進

- ・ 魅力発信・希望者支援による移住・定住の促進

(4) 関係人口の創出・拡大

- ・ 市外への魅力発信強化
- ・ 地方への資金の流れの創出・拡大

数値目標（主なもの）

■ 企業立地・再投資件数 7件（R6）→ 65件（R8～R12の合計）

■ 移住相談件数 2,000件（R6）→ 10,000件（R8～R12の合計）

基本目標

4 デジタルなどの新技術の活用や広域連携を推進する

- 市内企業のデジタル化や設備投資支援、教育DXによる学習指導の充実及び働き方改革の推進、行政手続きのオンライン化、業務の効率化による担い手不足の解消等、広く市民生活を豊かにするDXを推進する。
- 連携中枢都市圏をはじめとした近隣自治体との更なる連携強化を図る。

主な取組

(1) DXの推進

- ・ 地域社会のDXの推進
- ・ DXによる市民サービス向上・行政事務効率化

(2) 圏域をリードする広域連携の推進

- ・ 市域を越えた連携の推進

数値目標

■ 学校が学びやすく安全などに配慮した環境を整えていると感じる保護者の割合 89.5%（R6）→ 90%以上（R12）

■ 岡山市に住み続けたいと考える市民の割合 77.1%（R5）→ 85%（R11）